

事後評価結果

課題管理番号 : 17ek0109142h0003
研究開発課題名 : 小児期に冠動脈後遺症を来す川崎病における抗血小板薬治療の再評価に関する研究
研究代表機関名 : 国立研究開発法人国立成育医療研究センター
研究開発代表者名 : 石黒精

評価委員会のコメント :

○評価できる点、推進すべき点、研究事業にとって必要である理由

川崎病の全国レジストリがようやく構築され、27 症例が登録された。
レジストリの構築は順調そうである。
川崎病の全国レジストリの構築。
順調に進捗している点は評価できる。
川崎病の発症時治療選択の標準化が期待できる。

○疑問点、改善すべき点、その他助言等

アスピリン投与と血小板凝集とをフォローした症例は 74 例しか登録されず、この中には動脈瘤発生がないが、自然歴における動脈瘤発生頻度が提示されておらず、アスピリンの有効性については不明である。診療ガイドラインの改訂と言っても、新たな知見が少なく、改訂すべき根拠が少なく、学会間の調整も遅れている。抗血小板薬の有効性に関するメタ解析も不可能であった。
診療ガイドラインの根拠としての本研究が論文化されていない。
2015 年から事業が開始され、現時点で全国レジストリの登録例が 27 例と少ない。今後の早期の登録、悉皆性の確保が期待される。
抗血小板療法の評価なのか、血小板凝集能に関わる評価なのか視点が整理されていないのではないか？

以上